

(平成24年7月試験研究業務月報)

試験研究課題：「ブロイラーへの全粒小麦、全粒玄米給与によるカンピロバクター感染抑制効果」FS研究

研 究

## 鶏への全粒小麦、玄米給与による筋胃の変化

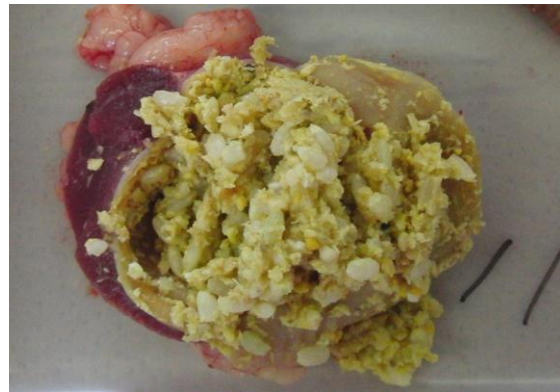
ブロイラーに小麦または玄米を全粒のまま給与すると物理的な刺激により筋胃内での滞留時間が長くなり、胃酸の分泌が促進されます。

本研究は、その物理的作用に着目し、食中毒原因菌の一つであるカンピロバクターを筋胃内で殺菌する可能性を探っています。

今回、ブロイラーに全粒の小麦または玄米を飼料に混ぜて給与したところ、筋胃内のpHは両区に差はありませんでしたが、玄米に比べて粒度の大きい全粒小麦を食べたブロイラーの筋胃は著しく発達しました。今後は粳付きの玄米でも同様の実験を行い、秋には感染抑制効果について検討する予定です。



全粒小麦区（筋胃内容物）



全粒玄米区（筋胃内容物）

処理	筋胃の体重比(%)		筋胃内容物のpH	
	4週齢	6週齢	4週齢	6週齢
全粒小麦	2.1	1.5	3.13	3.78
全粒玄米	1.6	1.1	3.23	3.78